



期 日 2024年7月23日(火)

会 場 ^{ほんれんじ}本蓮寺 (石川県小松市細工町28)

講 師 ^{きごし}木越 ^{ゆうけい}祐馨 氏 輪島市門前町 光琳寺住職
加能地域史研究会代表

講 題 ^{のみ}「能美四講から ^{しこう}郡中講へ」 ^{ぐんちゅうこう}

日 程 暑さ対策のため、開始時間を例年より30分繰り上げ
日程を正午までとします。
地図は裏面をご参照ください。

7:00 勸歸寺晨朝勤行
7:30 勸歸寺出発 (御影道中)
7:50 本蓮寺到着
8:30 郡中御影報恩講 勤修
相続講員物故者追弔法要 勤修
10:00 宗務総長表彰式
各組功労感謝状授与
各組功労者表彰状授与

10:25 法 話
11:05 休 憩
11:20 法 話
12:00 閉会式
※ 昼食 (弁当) は事前申込された
各組門徒会の方々・出仕者・役職者のみ

みなさま、お誘いあわせて、お参りください。

主催：真宗大谷派小松大聖寺教区 (小松市小馬出町26 Tel 0761-22-0555)



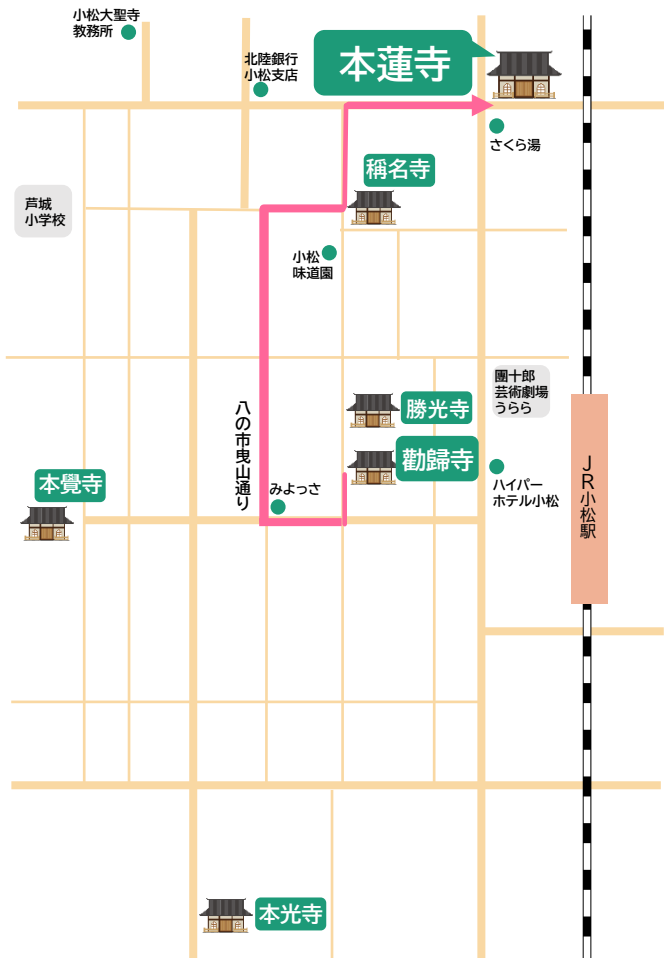
熱中症にご注意ください。
当日は暑くなることが予想されます。
お参りの方はこまめな水分補給を、
お願いします。



御影道中は

勸歸寺さんを出発して

本蓮寺さんに向かいます。



「郡中御影報恩講」とは

「郡中御影」は、約四〇〇年前の一五九五年に、本願寺教如上人から能美郡二百二十余カ村からなる「四日講」に交付された、「親鸞聖人」と「顕如上人」の御影（御絵像）です。

当時、天下統一をもくろむ織田信長は、本願寺に対して軍事・経済の両面から執拗な制裁を加えます。それに対し本願寺門徒は大阪（石山）本願寺（現在の大阪城の地）を中心に、一五七〇年から十年間の弾圧に耐え忍びました。世にいう「石山合戦」です。

本願寺門徒を根絶やしにするため皆殺しにしていた信長軍に対し、本願寺第十一代顕如上人の長男である教如上人は、徹底抗戦を決して、全国の門徒に檄文（波佐谷の「手の内御書」など）を飛ばし、父・顕如上人と対立しながらも大阪本願寺に籠城しました。

石山合戦では、お念仏の教えに生きるご門徒が全国各地から応援に駆けつけましたが、能美郡中からは特に選抜された多くのご門徒が石山本願寺に馳せ参じたと言われています。

郡中御影は、その労苦にこたえ教如上人から交付されました。

郡中御影報恩講は小松六ヶ寺が持ち回りで会所となり、この二幅の御影をお掛けして、毎年七月二三日にお勤めされています。また、以前は秋茄子が採れ始める八月にお勤めされていたことから「なすびの報恩講」（なすびのほんこさん）として親しまれています。

なすびの
ほんこさん

